

## 2 人口動向・推計

### (1) 総人口・世帯数の推移

本市の総人口は、高度経済成長期から増加が続いていましたが平成7年をピークに減少に転じ、平成27年には103,714人と、平成17年の市町村合併時(110,569人)と比べても6.2%の減少となっています。

一方、世帯数はゆるやかに増加を続け、核家族化の進展による単独世帯、特に高齢者の単独世帯が増えているため、平成27年には40,304世帯となっています。

#### データの見方【総人口の推移】【世帯の推移】

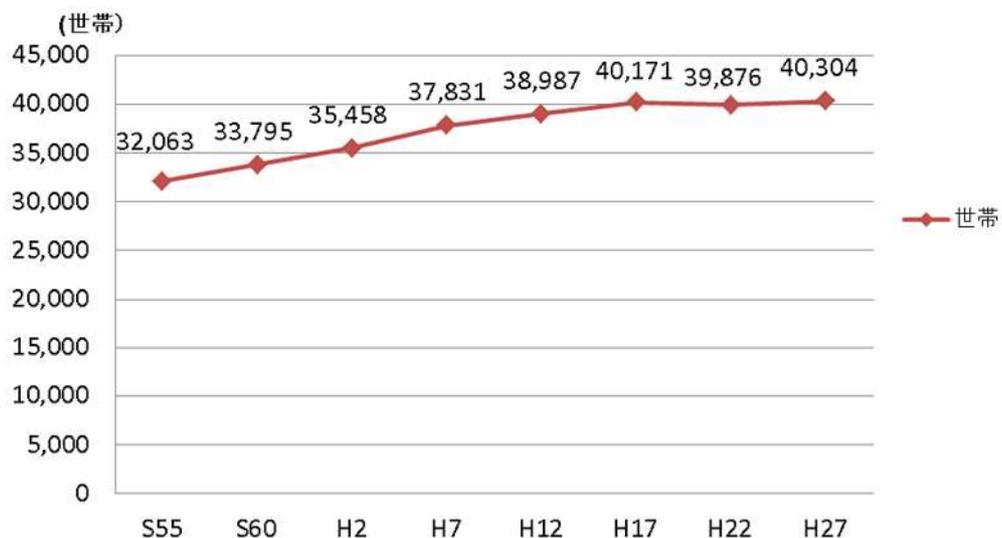
##### 数値参照元

- ・昭和55年～平成22年までの「人口」「世帯数」は「国勢調査」、平成27年の「人口」「世帯数」は「平成27年国勢調査(速報)」から参照しています。

### 総人口の推移



### 世帯の推移

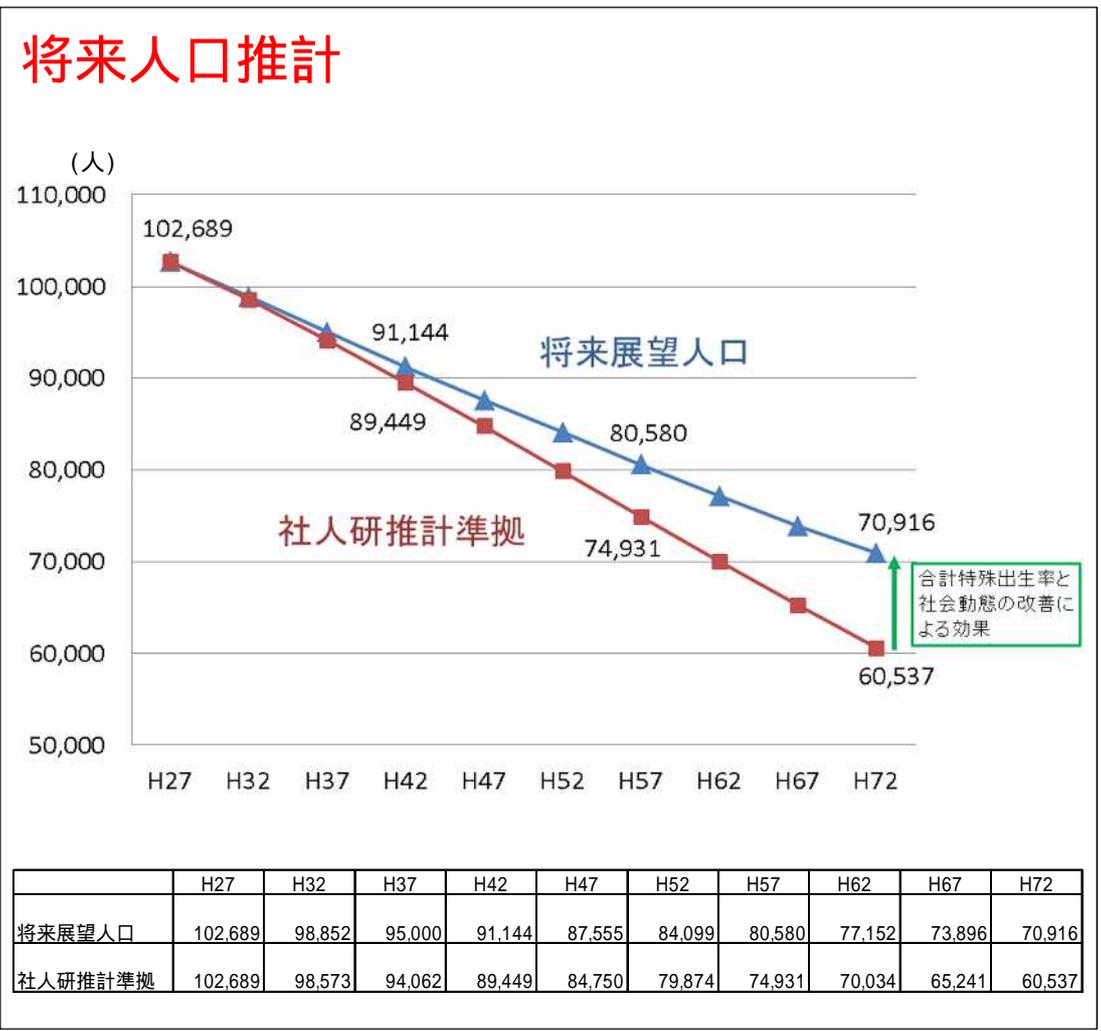


(2) 将来人口

本市の人口（旧加茂町・旧阿波村・旧勝北町・旧久米町を含む）は平成7年の国勢調査では11万3千人を超えるまで増加していましたが、これをピークに減少に転じ平成22年の国勢調査では10万7千人を割り込み、6千8百人以上の減少となっています。

津山市第5次総合計画の人口推計では、このまま少子化と人口流出に歯止めがかからなければ、50年後の人口が5万人を下回る可能性があるという極めて厳しい推計もなされる中、本市では「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定し、2060年（平成72年）に70,916人以上の人口を維持することを目標に掲げ、合計特殊出生率の向上や若者・子育て世代を中心とした社会減に歯止めをかけるため、結婚・出産から子育ての希望がかなう環境の整備や多様な就業の希望がかなう雇用環境の創出など、若年層をはじめとしたUIJターンを促進するための施策を進めています。

データの見方【将来人口推計】【年代別将来人口推計】	
数値参照元	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来人口推計」は「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)及び、「将来展望人口」(津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略)から参照しています。</li> <li>・「年代別将来人口推計」は「将来展望人口」(津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略)から参照しています。</li> </ul>	



### (3) 年齢別人口

年齢別人口では、生産年齢人口（15～64歳）の割合が減少し、高齢者人口（65歳以上）の割合が増加して高齢化が一層進むことが予想されています。

具体的には、平成27年と平成57年の年齢階級別の人口構成を比較すると、高齢者人口が約1千3百人の減少に対し、生産年齢人口が約1万8千人の減少と想定され、総人口の減少に伴い年齢別構成比率も変化することが分かります。

